

INFORMATION & OTHERS

ゼッケンの色と数字に注目
ゼロナンバーも応援してね!

コロナ禍で翻弄され続けた3年間。ようやくモトクロス本来の姿が関東の聖地オフロードヴィレッジにも戻って来ました。モトクロスが大好きなみなさんにとっては半年ぶりの全日本。でも中には初めて観戦する方も少なからずいらっしゃると思います。

全国から集まったトップライダーたちのスピードとジャンプの迫力、随所で繰り広

コーナーをトップで立ち上がることをホールショットと言うんですが、それは針の穴を通すくらい狭き門だから。当然スタートでトップに立てばレースを有利に組み立てられます。それだけに1周目の混戦バトルは熾烈です。注目するライダーは、アクシデントに遭わずに1周目をクリア出来るでしょうか。

次のポイントはマシンとゼッケンの

ドキしています。スタートの前なんか正に口から心臓が出ちゃうんじゃないかってくらい緊張しているハズ。そんな時はコースサイドからの応援が何より力になります。見かけたら落ち着いて頑張れよって励ましてあげてください。それで気になるライダーが見つかったらプログラムをチェック。全体を見ようとすると誰がどこでどれがなにやら分からなくなってしまうので、慣れるまでは誰か一人に的を絞って観戦すると、レースの展開が良くわかると思います。

スタートして赤ゼッケンライダーが後ろの方にいたら、何かアクシデントが起きたかと思えるし、そうじゃない、大きな数字やIA昇格を果たしたルーキーたちが前の方を走っていたら、そのライダーは相当頑張ってるって分かりますよね。

声を出しての応援 OK
声援がレースを盛り上げます

今シーズンから入場の際の検温や問診、マスク着用やソーシャルディスタンスの確保のお願いなど、コロナ感染対策は全てなくなりました。

今大会、土曜日は参加型、日曜日がメインのレースという特別なプログラムになっています。もちろん表彰式は両日お客さんにも解放されます。ぜひ応援したライダーにおめでとうの掛け声を送ってあげてください。シャンパンファイトの飛沫も浴びることが出来ちゃいますよ。

レース中の途中経過は、予選、決勝を通じ、お手持のスマートフォンで公式サービスに接続すれば全体の順位やタイムをリアルタイムで見ることが出来ます。アドレスはこの新聞の1番下にQRコードが置いてあります。携帯スマホで写メれば公式アカウントにアクセスできるはずですよ。

天候やコンディションで若干変更が出るかもしれませんが、土曜日のお昼休みにはトップライダーたちによるトークショーとサイン会が、また土曜日のラストにはIAライダーのフリープラクティスが予定されています。この走行枠、いつもと違ってリラックスして臨むライダーが華麗なアクションを見せてくれるんじゃないかと期待してるんですが、果たして!?

とにかくレースは朝から夕方まで延々と続きます。練習走行のタイムや走りを見て、決勝で誰が上位に来るか予想するのも楽しいですが、ず〜っ

とレースを見続けていたらさすがに疲れますよね。そんな時はメーカーのサービスブースにも出かけてみてください。ポスターや応援のフラッグがテイクアウト出来るようになっているハズだし、メーカーチームパドックにもポスターが用意されています。

直接パドックにライダーを訪ねたり差し入れに行ったりするのもOKです。ただ、中には気にする人もいるかと思うので、ライダーやスタッフさんに話しかける時は、「マस्कした方がいい?」って一言聞く気遣いはあっていいかなって思ってます。

スタート横や土手側の各社出店や展示ブースも必見です。スタートゲートやサインエリア、雨だったら特に洗車場でもメカニックさんの仕事ぶりが見学出来ます。コースを移動しながら最適な観戦ポイントを探してください。転倒などアクシデントが多い競技なので、ライダーは安全への配慮も怠りません。モトクロスウェアの中に着けている器具なども出店ブースでぜひご覧になってください。

今シーズンはLINEで届け
MXの表も裏もレポートします。

全日本モトクロスの現地情報を中心に画像やインサイドレポートをお手元のメディアに配信する速報サービス「HYPER MXING」ですが、今年もLINE公式アカウントを使って配信しています。シーズン中、更なるバージョンアップを予定しているんですが、料金は基本タダ(笑)。現地情報からレース後の裏話など、モトクロス好きの期待を裏切らないサービスをお届けします。みなさんぜひお気軽にご登録ください。



編集後記

IA1クラスでの頂上対決に新たな海外選手の参戦…。いつも以上に見どころ満載な今シーズンの全日本ですが、メーカーが技術力を凌ぎ合う一方で、お父さんがメカニック、お母さんや兄弟がヘルパーを務めるプライベートも大勢参戦しています。ワークスチームのパドックだけでなく、コースを挟んで反対側のパドックにもぜひ足を運んでみてください。新たな発見や出会いがきっと待っています。気になるライダーを見つけた時からがMXファンの始まりです!!

MXING & MC Square 木田 淑



PREVIEW-Off Road Village

チームメイトからライバルとして互いに意識し合いながらスタートに着いた二人のチャンピオン。開幕戦では明暗が別れたが、だからこそ巻き返しの期待がかかる。 Photo/K.Kida

D.I.D全日本モトクロス選手権シリーズ2022 第2戦腕時計のベルモンドCUPは5月13~14日に埼玉県川越、上尾の両市に跨るウェストポイント・オフロードヴィレッジで開催される。今大会では国内最高峰IA1クラスにトリプルヒート制を採用。15分+1周×3というスーパースプリントのバトルがどんな結果をもたらすのか大きな注目が集まる。王者不在となったIA2、IB Open、LMX、更なる拍車がかかる激戦を制し、勝利を手にするのは果たしてどのライダーだ!?

エース対決はジェイが先行
富田&日本勢の巻き返しに期待!

国内最高峰 IA1クラスの新たなエースとしてタイトル防衛に挑む富田俊樹(＃1／ヤマハ)に対し、IA2、IA1クラスの連覇に挑むジェイ・ウィルソン(＃27／ヤマハ)。チャンピオン同士の直接対決に注目が集まった開幕戦は、ジェイが圧倒した一方で富田が辛酸を舐める結果に。

悔しい思いをしたのはだけではない。3ヒートで手堅く3位表彰台に立ち総合2位となった能塚智寛(＃2／カワサキ)。2位表彰台に上がった内田篤基(＃8／カワサキ)と大城魁之輔(＃4／ホンダ)、表彰台まであと一步に迫った大倉由揮(＃6／ホンダ)もジェイに実力に屈したのが実状。渡辺祐介(＃4／ヤマハ)が怪我のため戦列離脱を強いられたのは残念だが、全てのライダーたちが、巻き返しを狙って今大会に臨んでいるはずだ。

もちろん上位進出のチャンスを持っているのは彼らだけではない。地元の大塚豪太(＃7／ホンダ)や小方誠(＃5／ホンダ)。安原 志(＃13／ホンダ)やベテランの小島庸平(＃10／ホンダ)も入賞を目指し超スプリントの3ヒートに挑む。スタートの良し悪しが大きくリザルトに

作用するトリプルヒート。ここオフロードヴィレッジでは常に接戦が繰り広げられてきただけに、新たな展開に注目が集まる。国内最高峰クラスの緊張感溢れるバトルをまずは堪能して欲しい。

IA2は世界レベルの走りに
若手がどこまで迫れるか

昨シーズン日本の若手を完全に圧倒して無敗のままチャンピオンとなったジェイ・ウィルソンがIA1クラスにステップアップしたことで王者不在となったIA2クラス。開幕戦は予想通りの混戦となり、シーズン序盤は誰が勝ってもおかしくない状況が続くそう。そんな中、開幕戦でクラス初優勝をマークし、一歩抜け出したのが中島激也(＃4／ヤマハ)と西條悠人(＃8／カワサキ)だ。しかしスペインの若手ビクター・アロンソ(＃58／ヤマハ)もしっかりと世界レベルの速さをアピールしており、従来の30分+1周で行われる今大会がどんな結果になるか注目が集まる。

シーズンオフに肩を手術し、まだまだ本調子ではないながらも、しっかりと結果に繋げた浅井亮太(＃2／ヤマハ)。一方でIA昇格2年目の18歳ながら、昨シーズン5度も表彰台に立つ大物ぶりを見せてランキング3番手に食い込んだ柳瀬大河(＃3／ホンダ)や田

中淳也(＃17／ヤマハ)ら若手も成長が楽しみなライダーだ。

また20代のライダーがひしめく中、IA1で走った経験をもつ横澤拓夢(＃5／ホンダ)も虎視眈々と上位を狙っている。混戦の中から誰が抜けて出てくるのか注目したい。

完全復活をアピールした
川井麻央に挑むのは誰だ!?

昨シーズンは久保まな(＃1／ホンダ)と川井麻央(＃2／ホンダ)が共に2勝で同点。川井の2位1回に対し2位2回で久保が初のタイトルを手にも、シーズン終了後に久保は引退を表明。そのためこちらもエース不在のシーズンとなったレディースクラス。注目の開幕戦では2度のタイトル

経験を持つ川井がライバルを圧倒。昨シーズン序盤は苦戦を強いられた川井が完全復活をアピールする結果となった。その川井に本田七海(＃4／ヤマハ)、マシンをホンダにスイッチした楠本菜月(＃5)、13歳の川上真花(＃7／ヤマハ)、15歳の瀬尾袖姫(＃8／ホンダ)、16歳の濱村いぶき(＃17／ホンダ)らがどんな戦いを挑むか注目したい。

土曜日に行われるナショナルクラスや未来のスターライダーの宝庫ジュニア、チャイルドクラスやIB Openクラスにもぜひ注目して欲しい。誰か一人のライダーに注目するとレースが何倍も面白くなる。公式プログラムで各ライダーのゼッケン、出身地などをチェックし、地元ライダーやルーキー選手には特に温かい応援を送って欲しい。

D.I.D 全日本モトクロス選手権シリーズ 2023スケジュール				
第1戦	HSR九州大会	4月 8~9日	熊本県 / HSR九州	
第2戦	関東大会	5月 13~14日	埼玉県 / オフロードヴィレッジ	
第3戦	SUGO大会	6月 3~4日	宮城県 / スポーツランドSUGO	
第4戦	中国大会	6月 24~25日	広島県 / 世羅グリーンパーク弘楽園	
第5戦	北海道大会	7月 30日	北海道 / 新千歳モーターランド	
第6戦	近畿大会	9月 9~10日	奈良県 / 名阪スポーツランド	
第7戦	HSR九州大会	10月 8日	熊本県 / HSR九州	
第8戦	関東大会	10月 28~29日	埼玉県 / オフロードヴィレッジ	
第9戦	MFJ-GP	11月 11~12日	宮城県 / スポーツランドSUGO	

D.I.D 全日本モトクロス選手権 第2戦 腕時計のベルモンドCUP開催おめでとうございます。

HONDA

YAMAHA
Revs Your Heart

SUZUKI



左のQRコードは、今大会のライブタイミングリザルトとライブ動画配信のダイレクトリンクです。また右のQRコードアクセスすると、タイムスケジュール、予選結果(決勝スターティンググリッド)、リアルタイムリザルト(決勝結果)の他、メーカー、チームの公式レポートやライダーのFacebook、Twitter、Instagramなど全日本モトクロス選手権シリーズに関する様々な情報にアクセスできるようになります。ぜひブックマークしてご活用ください。

